

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長野県	事業実施主体	宮田村	地域再生計画名	中央アルプス山麓を活かした林業・観光地再生プロジェクト
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	宮田村 みらい創造課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数			
	指標1	観光交流の活性化 地域全体における年間観光入込客数の増加	1,278,600人	H28	1,306,000人	R1	1,152,500人	1,334,000人	R3	×	2	1	特に秋の行楽シーズンでの長雨・台風による災害。主要な観光資源である中央アルプス駒ヶ岳に架かるロープウェイの鉄塔の不具合による長期連休。2月以降の新型コロナウイルスによる移動制限などが影響し目標値に達しなかった。
	指標2	林業の振興と森林整備の促進 宮田村における搬出材積の増加	220m³/年	H28	230m³/年	R1	272m³/年	240m³/年	R3	○	2	1	計画どおり予定していた間伐箇所を整備を終え、積極的に木材を搬出したことで目標値を達成することができた。
	指標3												

②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (R1)	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	村道整備事業（整備延長）	1,200m	1,200m	1,400m	当初計画に対し、R元年度で予定の舗装修繕を概ね終える（一部R2へ繰越）ことができた。軽微変更により整備量200mの増と事業期間を1年早めR2年度で終える予定。
	林道整備事業（整備延長）	115m	81m	81m	当初計画に対し、起工測量の結果により整備量が34m減となったが、予定していた整備を滞りなく終えることができた。
その他の事業					
計画外で独自に実施した事業	森林環境保全対策事業	間伐をはじめとする森林整備の積極的な実施による健全な森林の育成			松くい虫対策や間伐が安定的にできている。合板製材事業では搬出材を活用できるようにして循環型を意識できている。
	林道安全施設整備事業	林道のガードレール新設、カーブミラーの老朽化による付け替え整備事業			優先箇所を明確にし、計画的に進めている。

③評価方法 宮田村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会をR元年の年度末に開催し、中間目標値の実現状況に関する評価と検証を行った。

④中間評価の公表方法 宮田村ホームページ（行政情報）に掲載

⑤計画全体の総合評価 本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備を一体的に行うことにより、宮田高原への村外からの観光客を継続的に導くとともに森林整備の推進や間伐材の安定的な搬出をすることで、観光業及び林業の振興を図りながら地域全体の活性化を目指すことを目的としている。
地域再生計画に記載した数値目標のうち指標1について、集中豪雨や台風など不測の要因はあるが、中央アルプスの国立公園化による伊南DMOの取組や宮田高原のグランピングなど新規事業により入込客の増が期待できる。また、指標2について、搬出間伐が可能な箇所を計画どおり整備したことで、中間目標値を達成することができた。今後も計画どおり整備を行うことで、最終目標値の達成が期待できる。

⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ） 令和3年度予算要望額への反映（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ） 有りの場合の増減額 △30,000 千円	村道21号線は、地域等との調整の結果交差点処理が必要となったことと、R元年度で計画どおり整備を終えることができた林道と一体での事業効果を発揮させるため、中間評価の結果も踏まえ、軽微な計画変更と事業期間を1年前倒しする。 村道21号線は、R2年度に交差点部分の舗装改良（R元繰越）と道路改良（排水対策）を行い、予定のすべての事業を終える。 交付金は、事業費ベースでR元年度までに当初計画の103,500千円を活用し、R2年度で軽微変更分18,000千円を増額で活用し事業を終えるため、R3年度当初計画の30,000千円は減とする。

⑦今後の方針等に対する対応

- 軽微な変更の手続きを行った（適用日：令和2年4月1日）
- 村道1路線、林道1路線の事業量、事業費の見直し
 - ・整備事業量
村道 認定時1,200m→見直し後1,400m〔200m増〕 林道 認定時115m→見直し後81m〔34m減〕
 - ・令和3年度の事業費
認定時30,000千円→見直し後0千円〔△30,000千円（うち交付金15,000千円）〕
 - ・総事業費
認定時136,800千円→見直し後152,920千円〔16,120千円増（うち交付金68,400千円増）〕